



学校だより

## 子どもの未来をみんなで創る

平成 29 年 5 月号

神奈川県立相模原中央支援学校

5月17日(水)から19日(金)まで知的部門高等部3年生の修学旅行(北海道札幌・小樽方面)に行ってきました。16日までは、雨が降り、とても寒い日が続いていたとのことですが、旅行期間中は天候にも恵まれ楽しく過ごすことができました。ただ連日、気温は25度を超えていましたので、半袖の服がちょうどよいまさに夏の様相でした。子どもたちが楽しみにしていたアイスクリームを美味しくいただくには、うってつけの天気ではありますが…。さて、昨年もそうでしたが、子どもたちは長期にわたって事前の学習(調べ学習であったり、ルールやマナーに関する学習やグループ編成をしたり等々)を積み重ねて当日を迎えています。その学習成果を大いに発揮できた活動だったと思います。子どもたちにとって、見学や体験活動等がこれから生活していく上での貴重なまた、心に残るものになってくれたら、とてもうれしく思います。

5月24日(水)から26日(金)まで、肢体部門高等部3年生が静岡県に修学旅行に行きました。静岡県立の特別支援学校との交流も行いました。見学や体験も含め、楽しみました。

校長 片岡充彦

### 待ちに待った修学旅行(高等部)

5月17日(水)～19日(金)に、知的部門が北海道(札幌、小樽)へ修学旅行に行ってきました。前日までは冷たい雨が降り、フリースが必要だったというバスガイドさんの話でしたが、私たちの到着した日から晴天で、天気に恵まれた3日間でした。なんと神奈川県の気温よりも高いほどでしたよ。八重桜、チューリップ、ライラックの花が見頃で、若葉も青く、とても気持ちが良かったです。初日のモエレ沼公園に到着すると、みんなで大きく息を吸い、北海道の空気のおいしさを味わいました。そして、公園の脇には市内に積もった雪を捨てるところがあり、「こんなに暑いのにまだ雪が残っている」「あれ、信号機が縦になっている」と北海道らしさを発見していました。2日目は、小樽でグループ活動をしました。どのグループも、昨年度から積み重ねてきた学習の成果を活かし、大満足の1日でした。最終日は、ウィンタースポーツミュージアムでスキージャンプやクロスカントリー、ボブスレーなどの体験をしました。大倉山シャンツェの大迫力も身近で感じてきました。たった3日間でしたが、生徒一人ひとりの大きな成長を感じることができました。

5月24日(水)～26日(金)は、肢体部門が静岡方面に行ってきました。静岡といえば、世界文化遺産、富士山、お茶、ちびまる子ちゃん…。茶つみ・茶もみ体験では、お茶の香りを全身で味わいました。そして、静岡の特別支援学校と交流し、一緒に給食を食べました。昨年度から様々な交流を重ねてきたので、実際に会うことができ、充実した一日を過ごすことができました。

そして3年生は、修学旅行が終わると、いよいよ卒業に向けて進路が目の前に迫ってきます。修学旅行のまとめをしながら、6月の実習に向けて全力でがんばっていききたいと思います。

1、2年生も、宿泊学習や校外学習等が続きます。事前事後の学習を大切にしながら、すべての教育活動が自立と社会参加につながっていることを意識し、生徒一人ひとりが成長できる活動にしていきたいと考えています。

高等部長 野毛 美穂

